

## ● 情報提供、ボランティア・NPO 活動センターの広報

センターでは、地域の様々な団体のボランティア募集やイベント・講座・セミナーの開催について、チラシやポスターの掲示や学内へのニュースレターの発行、希望者にはメールマガジンを配信するなど、様々な形で情報提供を行っています。また、ホームページでは、事業予定や取り組んだ事業の報告、センターの発刊物のバックナンバーも掲載しています。

### ○チラシの配架やポスターの掲示

数あるボランティア情報やイベント・講座・セミナーなどの情報を多くの学生に提供するために、パンフレットスタンドにチラシを見やすく配架・整理したり、センターの掲示板に情報を掲示しています。

センター事務室内外でのラックの設置とチラシの整理、掲示板の管理などを学生スタッフが中心となって行っており、学生に向けたアプローチを工夫するとともに、この活動をコーディネートに活用しています。

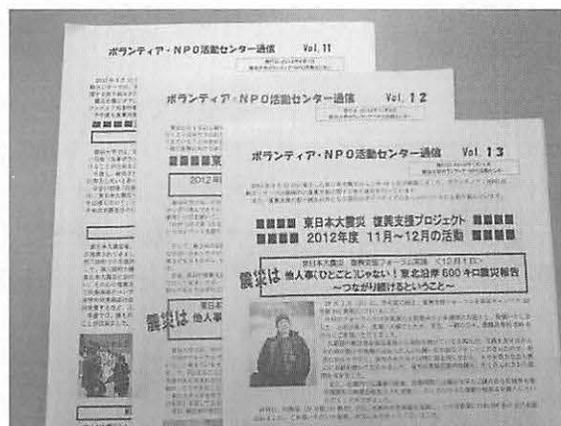


### ○ボランティア・NPO 活動センター通信

センターの学内での認知度向上を目的として、ニュースレターを今年度計3回発行しました。

内容は、東日本大震災復興支援プロジェクトに関する各種事業の周知・報告や、教職員にも関心を持ってもらえるようなセンターの自主事業、学生の各種ボランティア活動報告などを掲載しました。

今後も、本ニュースレターをきっかけとした教職員から学生への情報提供によるボランティア活動の広がりや、教職員自身のボランティア活動の促進を目指して、さらに内容を充実させていきたいと考えています。



### ○メールマガジンの配信

メールマガジンは学生や教職員などを中心に登録があり、今年度のメールマガジン登録者数は本学学生、教職員などを含め、計1132人でした。(2013年3月31日現在)

一斉休暇期間を除いた毎月2回、1日に瀬田キャンパスからと15日に深草キャンパスから配信し、今年度は計22回となりました。内容は、①センター主催のイベントやボランティア企画の募集案内／②地域団体からのボランティア情報やイベント・セミナー等の情報／③学生スタッフの執筆によるボランティア関連や社会問題に関する特集／④学生スタッフの紹介 という構成になっています。②では、地域団体の声が直接届くよう、所定の様式で登録団体が作成した記事をセンターへ送付するシステムとなっています。今年度から、ボランティア募集情報については活動保険の有無や可能な限り保険の種類についても掲載し、活動を希望する学生に向けた情報の充実を図っています。

記事の作成は学生スタッフが担当し、事務局が最終的に修正等を行って配信しています。これは学生スタッフが情報を把握し、コーディネートへ活かすことを狙いとしています。

メールマガジンを見てボランティアに申し込む学生もあり、さらなる内容の充実を目指

したいと思います。

#### ○ホームページ

2010年度のリニューアル以来、センターの自主事業や東日本大震災復興支援に関する活動を積極的に発信しています。

今年度は、11月の復興支援ボランティアの様子(P.13)を多くの写真で詳しく見ていただけるよう、別ページを設けてフォトギャラリー形式で掲載しました。

今後も閲覧する方にとって情報を得やすく、ボランティア活動のきっかけとなるようなホームページ運営を行っていきたいと思います。

#### ○講義やゼミ（演習）でのセンター紹介

センターではボランティア活動のきっかけ作りを目的として、2010年度より講義やゼミ（演習）の中で、センターの紹介を行うという取り組みを新たに実施しています。

30分～90分のうち教員が希望する時間内で、ボランティアコーディネーター（職員）や学生スタッフがパワーポイントなどを使った「ボランティアとは」、「センターの活動紹介」といった内容や、ボランティア活動の体験談を紹介したりセンターまで案内を行ったりしました。

深草キャンパス6回、瀬田キャンパス4回の計10回実施し、講義後に学生がボランティア相談に来るなどの効果がありました。